

上智大 音教授と ラジオ経営の羅針盤づくり研究会

いまのラジオ局経営に関わっているリーダー、ラジオ局の将来に強い危機感と問題意識を持つ者が集まり、日本のラジオの未来について分析・議論することで、問題の洗い出しと具体的な方策を検討・提言することを目的の場とする 4 回シリーズの連続開催。



アメリカ製の RCA12-X 型ラジオは第 2 次大戦の終戦当時、昭和天皇が使用していたラジオの 1 台(同型のもの)
／NHK 技研公開 2019

▼終了した研究会

第 1 回	日 時	6 月 25 日(火)11:00~13:00/終了:30 人参加にて
	テーマ	生活行動視点から見たラジオメディアの現在地
	内 容	ラジオの課題の一つが、その媒体価値を示すメディア・データの弱さである。ラジオというメディアの実像をどう読み解き、どう展開していくのか。その現在地を問い直す。
	講 師	奥律哉氏:(株)電通 電通メディアイノベーションラボ 統括責任者
第 2 回	日 時	7 月 12 日(金)11:00~13:00/終了:25 人参加にて
	テーマ	AM・FM と IP における「あまねく」サービスの展望
	内 容	ローカル民放ラジオは、生活情報・地域情報に強く、災害時にライフラインとして圧倒的なメディア力を発揮する。他方、メディア環境が激変するなかで、ローカルラジオの経営の厳しさを指摘する声は多い。鉄塔問題や難聴問題、ワイド FM とのサイマルによる経営圧迫など、個社で事情の異なる問題もある。第 1 回で衝撃を与えた電通・奥氏の「ラジオの現在地」のダイジェストも聞く。
	講 師	中村耕治氏:南日本放送(MBC) 代表取締役会長 田中和彦氏:南海放送(RNB) 代表取締役社長 奥律哉氏:(株)電通 電通メディアイノベーションラボ 統括責任者

■第3回・4回開催のご案内

参加定員：25人（先着順）

第3回	日時	7月29日(月)15:00~17:00
	テーマ	海外動向も含めて考えたい「音声メディア」としての展望
	内容	ラジオを「音声メディア」として再定義しながら、どう復権させていくのか。海外の事例、新たなメディア・テクノロジーの潮流を手がかりに可能性を考える。
	講師	緒方憲太郎氏:Voicy 代表取締役 CEO 井上佳央里氏:Radiotalk 代表取締役 CEO 石井忠典氏:博報堂DYメディアパートナーズラジオ局 オーディオビジネス開発部部長 坂谷温氏:radiko 業務推進室長
	参加費	1万5,000円(税込)当日受付にて/領収書をご用意
	会場	ビジョンセンター永田町 8階「802」 https://www.visioncenter.jp/nagatacho/access/ メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口の目の前のビル
第4回	日時	7月31日(水)14:30~16:30
	テーマ	クライアントから見たラジオへの期待と課題を直言
	内容	音声メディアが人の行動に与える影響を映像との比較で考えつつ、ラジオ事業にクライアントはどう考えているのか。今後のラジオCMの役割をオーディアの市場と重ねながら、またCM考査の現状も含めて意見交換する。 第1回開催でインパクトを与えた電通の奥氏がダイジェスト解説もある。
	講師	堀内進之介氏:Screenless media Lab. 所長 三浦文夫氏:radiko フェロー・関西大学教授 半田英智氏:ヤフー株式会社 CEO 事業推進室 CEO 補佐 小林裕一氏:大日本除虫菊株式会社 宣伝部課長 大木秀幸氏:株式会社博報堂DYメディアパートナーズ ラジオ局長 奥律哉氏:株式会社電通 電通総研フェロー 電通メディアイノベーションラボ 統括責任者
	参加費	1万5,000円(税込)当日受付にて/領収書をご用意
	会場	ビジョンセンター東京駅前 7階「703」 https://www.visioncenter.jp/tokyo/ekimae/access/ JR 東京駅 八重洲北口・中央口(八重洲地下街 18番出口 徒歩0分)

■参加申込み

以下記入して右記送付先へ／メール yoshii@newwww-media.co.jp

参加します 第3回：7/29月 () ⇒参加希望に () に○印を
第4回：7/31水 ()

- ・名前：
- ・社名 ((株)を忘れずに)：
- ・ケータイ：
- ・メールアドレス：
- ・領収書の宛名が上記と異なる場合 ((株)を忘れずに)：
- ・講師ゲスト陣への質問：